

NPO/AAF A LECTURE / TALK SESSION

AAFの設立1周年の記念レクチャーとして2011年に開催をはじめましたDレクはこれまで、【現代美術家・アーティスト編】、【ファッション・テキスタイルデザイナー編】、【グラフィック・アートディレクター編】、【インテリア・プロダクトデザイナー編】、そして【建築家編】と、5つのカテゴリで活躍されるクリエイターの方たちに参加をいただきました。そして昨年2017年5月。同居いたしておりましたナガオカケンメイさん率いるD&DEPARTMENTの移転に伴い、2年間の休止をしておりましたが、LONG LIFE DESIGNを提唱されたナガオカさんの意思を継ぎ、「Aレク」と名称を変更し継続することにした2019年は【構造家編】、2020-21年はファッションデザイナー編・アーティスト編、ディレクター編を開催しました。

2000年にナガオカさんから依頼され、20代の頃、この建築のリノベーションの設計を担当した、当法人の代表を務める平沼孝啓が、「地域の日常にある建築に、継続のあり方を探ったプロジェクト」と称した場を利用し、現在、私たちAAFのスタッフたちが、日常に活動する場での開催となりますが、このような建築の文化に深いご理解とご興味を持たれる皆さまの、オフ会として、または勉強会の場として、建築やデザインに触れる「小さくて身近」な、「交流や集会の場」となることを目指しています。この建築が所在する大阪・南堀江は、道頓堀川の畔という立地から、島根や山口、高知や香川から木材が運ばれ、製材をされる倉庫や工場が多く存在しました。その関係から約60年前に家具工場として造られたこの建築は、約30年前に刷毛ブラシの制作所として受け継がれ、約15年前にロングライフデザインストアとして息を吹替えました。この系譜を受け、「どこにでもある日常の建築を」に価値を与えられた意図から、建築の文化活動を担う私たちAAFが、このバトンを落とすことなく、受け継いでいきます。

いよいよ万博開催直前となる2025年新春も、3年連続で、'25日本国際博覧会プロデューサーの皆さまにご登壇いただきます。乞うご期待ください。



各回共通

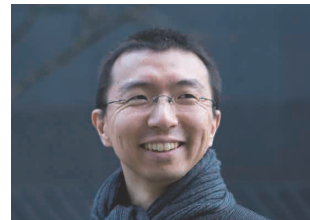
× 対談

= モデレーター

18:30 開場 19:00 開演 20:30 終了

平沼孝啓建築研究所 〒550-0015 大阪市西区南堀江 2-9-14 4F

最寄駅：地下鉄
千日前線・桜川駅 5番出口 徒歩5分 地下鉄四つ橋線・四つ橋駅 5番出口 徒歩10分
鶴見緑地線・西大橋駅 3番出口 徒歩8分 御堂筋線・心斎橋駅 7番出口 徒歩15分



藤本壮介 (建築家)



平沼孝啓 (建築家)

入場 1,000円 | 定員 60名 (当日会場にて先着順座席選択) | 申込 要 ウェブサイトからお申込みください <http://d.aaf.ac>

※1 当日の受付は18時30分から先着順にて開始いたします。建物入口、向かって左側の階段より4階まで直接お越しください。また、席に限りがあり、立見になる場合がございます。
 ※2 当日のご参加も若干名様まで可能としております。18時30分より先着順にて整理券を発行します。
 ※3 開始時間に遅れられた場合、満員に達した場合、来場をお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。

『Aレク』で検索